

# 日光 創新

齋藤文夫市長  
就任あいさつ



このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さま方の温かいご支援と各方面からの力強いご支持を賜り、再び市政をお預かりすることになりました。改めて責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

1期目の4年間を振り返りますと、合併当初は、合併時に策定した「新市建設計画」を基本にまちづくりを進めました。財政環境は非常に厳しく、市がこれからのまちづくりを進めるためには、将来に向けて安定した行財政基盤を確立する必要があります。

そこで、まず「行政改革大綱」とその実施計画である「集中改革プラン」を策定し強力に行政改革を進め、さらに、集中改革プランの個別計画である「財政健全化計画」に基づき、まちづくりに柔軟に対応できる財政へと体質改善を図った結果、厳しい財政環境も将来を見渡せるまでに回復してまいりました。

また、まちづくりの総合的指針として策定した「日光市総合計画」に基づき、教育、保健、福祉の充実、観光をはじめとする産業の振興、都市基盤や防災など生活環境の整備、環境行政の推進などに努めてまいりました。

さらに、市民と行政の協働による

まちづくりのための「日光市まちづくり基本条例」や、男女共同参画を推進するための「日光市男女共同参画推進条例」を制定いたしました。

2期目のこの4年間は、日光市の更なる飛躍、発展のため非常に重要な時期であります。都市間競争が厳しくなる中、ほかの自治体との競争に勝ち抜くためには、まず総合計画の前期計画に掲げた各種施策を着実に実行していく必要があります。

子育て支援や高齢者・障がい者福祉の充実を図るとともに、保健、医療など健康づくりを推進してまいります。また、観光、商工業、農林水産業の振興を図るとともに、雇用や就業機会の確保に努め、地域経済の活性化を図ってまいります。

特に、市の基幹産業であります観光について、当市を「世界の日光」にするには、ほかの観光地にはない独自性を打ち出す必要があります。観光と各産業との連携はもちろんのこと、観光と福祉や観光と教育（スポーツ施設）など、さまざまな連携が考えられます。その中から、新たな日光ブランドを次々と創り出すことによつて、国内外から多くの観光客を呼び込むことができると考えております。

このようなことから、「一体感の

醸成を図る中で、新しいものを創り出し、新しい日光を創造する」という意味で「日光創新」を掲げ、名実ともに世界の観光地「日光」となるよう努力してまいります。

平成22年度から、平成24年度を初年度とする総合計画後期計画の策定に取りかかります。前期計画が離陸から安定飛行に向かうまでの計画であるとすれば、この後期計画はいよいよ安定飛行に移った計画といえます。それと同時に、前期計画と合わせ、今後50年、100年と「日光」が輝き続けるための重要な計画でもあります。

また、「早期の一体感の醸成」と「各地域の均衡ある振興・発展」という合併以来の命題に対しても、引き続き適切に対応してまいります。特に平成22年度は、合併5周年という記念すべき年であります。さらなる一体感の醸成を図るため、市民憲章、市の歌、市の花・木・鳥などを制定するとともに、平成23年3月に合併5周年記念式典を挙行いたします。また、足尾銅山の世界遺産登録への取り組みなど、引き続き各地域の個性を生かした事業を実施してまいります。中心市街地については、総合的・一体的な整備方針を定めた「中心市街地活性化基本計画」の総

理大臣認定に向けた協議を進めるとともに、東武下今市駅周辺のまちづくり事業に着手いたします。

わが国が大きな転換期を迎えている今、一人一人の市民が持てる力を存分に発揮し、互いに助け合つて持続可能な日光市づくりを進めていくことが何より重要であります。

まちづくりの原点は、「市民の皆さまの意見を聴く」ことにあります。私の市政経営における2つの基本理念である、「まちづくりの主役は市民（あなた）です」、「市民の皆さまに仕える事が私の仕事です」に基づき、市民の皆さまのご意見を伺いながら、私が全職員の先頭に立ち、市民との協働によるまちづくりを、引き続き全力で推進してまいります。



豊かな心と文化を育む都市を目指します

- 教育施設の整備充実
- スポーツ施設の整備
- 奨学金制度の充実
- 文化芸術の振興
- 健康やかで人にやさしい都市を目指します
  - 子育て支援の充実
  - 高齢者福祉の充実
  - 障がい者福祉の充実

○ 健康づくりの推進

○ 地域医療体制の充実

魅力と活力にあふれた産業都市を目指します

○ 観光圏整備事業の推進

○ 観光と各産業との連携の推進

○ 地場産業の育成と地産地消の推進

○ 企業誘致などによる地域内産業の振興と雇用の促進

○ 中心市街地の活性化

○ ほ場整備、農道整備など農業環境の整備促進

○ 林業・漁業経営の支援

快適で安全な都市を目指します

○ インフラ整備（道路・水道・下水道など）の推進

○ 分譲地の生活環境整備の推進

○ JR下野大沢駅西口の整備

○ 公共交通網の整備

○ 携帯電話・地上デジタル放送・光通信への対応

○ 消防・防災対策

○ 高齢化集落対策

環境都市を目指します

○ かけがえのない自然環境と共生できるまちづくりの推進

○ 廃棄物対策の推進

まちづくりの推進に向けて

○ 自治会活動・市民活動・NPO活

動・ボランティア活動の支援と、

地域コミュニティづくりの推進

○ 男女共同参画社会の実現

○ 行財政基盤の確立

## 政治理念

市民主権、人権尊重、世界平和、不偏不党、公平無私、徳のある市政経営、品格のある日光市の創造

## 趣味

読書、スポーツ観戦、山歩き

## 座右の銘

『抜苦与楽』  
『自らを反省し、自らを造れ』  
『Learn to labour and to wait』

## 市長のプロフィール

### 略歴

昭和19年生まれ(66歳)  
昭和42年 青山学院大学経済学部卒  
今市市奉職  
平成12年 今市市長に初当選  
平成16年 日光地区合併協議会会長  
今市市長再選(2期目)  
平成18年 初代日光市長に当選  
平成22年 日光市長再選(2期目)